

	MEN-DOキャンペーン01(音楽系ゲイサークル)、02(スポーツ系ゲイサークル)、03(Living Together計画)開始(~9/30)
8	AIDS文化フォーラムin横浜 第12回 MSM首都圏グループ全体ミーティング 第44回Living Together Lounge SMASH杯(バレーボール) 第9回東京レインボー祭り HIVマップ「伝える」キャンペーン 夏の思い出キャンペーン開始
9	第45回Living Together Lounge Living Together のど自慢 ゲイバーアウトリーチボランティア説明会 第13回 MSM首都圏グループ全体ミーティング こぐま杯(テニス)
10	神奈川県保健師対象MSM検査研修会 第46回Living Together Lounge 検査環境チーム 港区医療機関、医師会とのミーティング 第14回 MSM首都圏グループ全体ミーティング SVGC杯(バレーボール) 各種資材用、モデル撮影 東京都保健師対象MSM検査研修会 神奈川県保健師対象MSM検査研修会 千葉県保健師対象MSM検査研修会
11	第47回Living Together Lounge クラブオーガナイザー向けミーティング 第15回 MSM首都圏グループ全体ミーティング 「HIVマップmobile」リニューアルオープン 上野タウンミーティング 新宿区保健所検査キャンペーン 検査環境チームミーティング 港区保健所で戦略の活動について説明 クラブキャンペーン開始(~1/24/09) 神奈川県検査イベント こぐま杯(テニス) episode from OURDAYS(~12/7) 「REAL-Living Togetherクラブキャンペーンサイト」オープン 「ゲイ・バイセクシャルにやさしい あんしんHIV検査サーチ」オープン
12	第48回Living Together Lounge 大人デリヘル クラブキャンペーン用資材ハッテン場配布 第16回 MSM首都圏グループ全体ミーティング

	Living Together のど自慢
1	第49回Living Together Lounge 第17回 MSM首都圏グループ全体ミーティング 検査環境チームミーティング MEN-DOキャンペーン04バー・アンケート(新宿、野毛、新橋、上野・浅草)開始(~2/27)
2	デリヘル クラブキャンペーン用資材ゲイバー配布 第50回Living Together Lounge 第18回 MSM首都圏グループ全体ミーティング
3	第51回Living Together Lounge 第19回 MSM首都圏グループ全体ミーティング TOMARI-GI 2号完成 新橋バーママ・スタッフ向け 札幌バーママたちのインタビュー・ビデオの上映&ライブイベント&臨床医とのトーク会 新宿バーママ・スタッフ向け 札幌バーママたちのインタビュー・ビデオの上映&ライブイベント&臨床医とのトーク会

○2009 年度

月	内容
4	エイズ発症予防キャンペーン企画・検討開始 webサイトあんしんHIV検査サーチPC版改訂 第52回Living Together Lounge 第20回MSM首都圏グループ全体ミーティング スポーツ大会こぐま杯(テニス)アウトリーチ
5	HIVマップ・あんしんHIV検査サーチ広報カード完成 HIVマップPC版 新コンテンツ HIV/エイズガイド完成 第53回 Living Together Lounge 第21回MSM首都圏グループ全体ミーティング 神奈川県保健師研修会<中止> TOKYO Pride Festival アウトリーチ 「Living Together コンサート」実施 MEN-Doキャンペーン ミニPCアンケート実施
6	webサイトあんしんHIV検査サーチPC版、イベント検査情報提供開始 TOMARI-GI3号発行 第54回Living Together Lounge 第4回 TOKYO FM×Living Together計画 Think About AIDS 第22回MSM首都圏グループ全体ミーティング 東京都保健師研修会<中止> HIVマップPC版 新コンテンツ report開始

	第12回 Living Together のど自慢
7	第55回Living Together Lounge 第23回MSM首都圏グループ全体ミーティング エイズ発症予防キャンペーン「できる!」経験談募集ページアップ 文化系音楽会「プレリュード -Prelude- 2009」アウトリーチ MEN-Doキャンペーン 携帯電話アンケート 文化系開始(~9月末)
8	webサイトあんしんHIV検査サーチmobile版アップ 第56回Living Together Lounge AIDS文化フォーラム横浜 講演「検査しやすい環境づくりのために -ゲイ・バイセクシュアル男性理解のためのアプローチ-」 千葉県検査会協力 第24回MSM首都圏グループ全体ミーティング MEN-Doキャンペーン 携帯電話アンケート Living Together計画開始(~11月末) 台東保健所訪問 第10回東京レインボー祭り アウトリーチ
9	冊子版あんしんHIV検査サーチ完成 TOMARI-GI4号発行 第57回Living Together Lounge 北区保健所訪問 千葉県保健師研修会 (20名参加) 第25回MSM首都圏グループ全体ミーティング 東京都保健師研修会 (13名参加) スポーツ大会こぐま杯(テニス)アウトリーチ MEN-Doキャンペーン 携帯電話アンケート スポーツ系開始(~11月末) スポーツ大会SMASH杯(バレーボール)アウトリーチ 文京区保健所訪問 TOMARI-GI cafe EVENT in 新橋(2名参加) 第13回 Living Together のど自慢
10	FACE TO REAL 2009配布開始 TOMARI-GI cafe EVENT in 上野・浅草 第58回Living Together Lounge TOMARI-GI cafe EVENT in 新宿 第26回MSM首都圏グループ全体ミーティング スポーツ大会こぐま杯(テニス)アウトリーチ TOMARI-GI cafe EVENT in 横浜野毛 スポーツ大会SMASH杯(バレーボール)アウトリーチ
11	PC版「できる!」キャンペーン 2009年度のキャンペーンサイト公開開始 資料のPDF化、webサイトREAL-Living Together上での公開開始

	akta monthly paper 12月号 臨時検査イベント記事掲載協力 第59回Living Together Lounge 第27回MSM首都圏グループ全体ミーティング クラブオーガナイザーミーティング実施
12	「できる!」キャンペーン2009 Clubキャンペーン実施 31イベントでの配布 ・「12 STORIES」卓上カレンダーの配布開始 ・「face to real」カードセット配布開始 ・2009年度版「あんしんHIV検査サーチ」冊子配布開始 ・「できる!」キャンペーン説明フライヤー配布開始 webサイトREAL Living Togetherリニューアル配布開始 TOMARI-GI5号発行 第28回MSM首都圏グループ全体ミーティング 第60回Living Together Lounge 台東区・北区保健師研修会 第5回 TOKYO FM×Living Together計画 Think About AIDS 第14回 Living Together のど自慢
1	第61回Living Together Lounge ゲイ向け冊子関係者ミーティング 第29回MSM首都圏グループ全体ミーティング
2	MEN-Doキャンペーン 携帯電話アンケート 2009年度実施分フィードバック開始 第62回Living Together Lounge 第30回MSM首都圏グループ全体ミーティング ゲイビデオ業界向けミーティング「HIV/エイズの今についてのミーティング」
3	HIVマップ バナーキャンペーン開始 第63回Living Together Lounge 第31回MSM首都圏グループ全体ミーティング

○2010 年度

月	内容
4	第64回Living Together Lounge かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 第32回MSM首都圏グループ全体ミーティング スポーツ大会 こぐま杯 クラブイベントアウトリーチ・ハマナイ
5	第65回Living Together Lounge MSM首都圏グループ 活動報告・意見交換会 第33回MSM首都圏グループ全体ミーティング スポーツ大会 新橋杯

	Living Together のど自慢,09年度携帯電話アンケートフィードバック実施
6	<p>[できる!キャンペーン A. Sexできる!]</p> <p>2010年度 できる!キャンペーン開始</p> <p>できる!キャンペーン A期間 Sexできる!(~7月末)</p> <p>A期間 ポスター完成</p> <p>A期間 リーフレット完成</p> <p>A期間 ランディングページ完成</p> <p>A期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開</p> <p>TOMARI-GI 7号完成</p> <p>第6回 TOKYO FM×Living Together計画 Think About AIDS公開録音</p> <p>第66回Living Together Lounge</p> <p>かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査</p> <p>保健所職員研修会 東京都</p> <p>第34回MSM首都圏グループ全体ミーティング</p> <p>保健所職員研修会 千葉県</p>
7	<p>[できる!キャンペーン A. Sexできる!]</p> <p>2010年度 できる!キャンペーンコンドーム完成</p> <p>ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる!開始</p> <p>A期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開</p> <p>保健所職員研修会 神奈川県</p> <p>第67回Living Together Lounge</p> <p>かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査</p> <p>Yokohama gay community paper Crew3号、原稿作成協力</p> <p>第35回MSM首都圏グループ全体ミーティング</p> <p>文化系音楽会「プレリュード -Prelude- 2010」アウトリーチ</p> <p>文化系Prelude携帯電話アンケート</p> <p>クラブイベントアウトリーチ・ハマナイ</p> <p>文化系展覧会 Rainbow Arts</p> <p>ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる!</p>
8	<p>[できる!キャンペーン B. すぐできる!]</p> <p>できる!キャンペーン B期間 すぐできる!(~9月末)</p> <p>B期間 ポスター完成</p> <p>B期間 リーフレット完成</p> <p>B期間 ランディングページ完成</p> <p>B期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開</p> <p>第68回Living Together Lounge</p> <p>あんしんHIV検査マップ 東側版完成</p> <p>かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査</p>

	<p>AIDS文化フォーラムin横浜  第36回MSM首都圏グループ全体ミーティング  第7回東京プライドパレード  できる!フロート出展  バナースタンド、バナー完成  できる!新聞完成  Living Together ゼミナール実施  Living Together ゼミナール用パネル作成  coming out flag  できる!チャンネル取材  第11回東京レインボー祭り  Living Together計画携帯電話アンケート  千葉県街頭HIV検査会</p>
9	<p>[できる!キャンペーン B. すぐできる!]  B期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開  あんしんHIV検査サーチ あんしん検査探訪記公開開始  TOMARI-GI 8号完成  ハッテン場24会館 コラボレーションMTG  ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる!  第69回Living Together Lounge  かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査  第37回MSM首都圏グループ全体ミーティング  Gaysian Games in Tokyo  Living Together コンサート  クラブイベントアウトリーチ Shangri-La  スポーツ大会TOWN HOUSE杯 携帯電話アンケート  Living Together のど自慢</p>
10	<p>[できる!キャンペーン C. 話ができる!]  できる!キャンペーン C期間 すぐできる!(~11月末)  C期間 ポスター完成  C期間 リーフレット完成  C期間 ランディングページ完成  C期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開  できる!チャンネル公開開始  ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる!  第70回Living Together Lounge  第38回MSM首都圏グループ全体ミーティング  ハッテン場用HIVの基礎知識リスト完成</p>

	<p>Yokohama gay community paper Crew4号、原稿作成協力  かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査  ハッテン場24会館 コラボレーション開始  クラブイベントアウトリーチ・ハマナイ  スポーツ大会SMASH杯 携帯電話アンケート</p>
11	<p>[できる!キャンペーン C. 話ができる!]  C期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開  かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査  ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる!  第71回Living Together Lounge  第39回MSM首都圏グループ全体ミーティング  できる!キャンペーン Twitter告知開始</p>
12	<p>[できる!キャンペーン D. stopできる!]  できる!キャンペーン D期間 stopできる!(~1月末)  D期間 ポスター完成  D期間 リーフレット完成  D期間 ランディングページ完成  D期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開  TOMARI-GI 9号完成  あんしんHIV検査サーチ あんしん検査探訪記アップデート  できる!チャンネル コミュニティインタビュー公開開始  ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる!  第72回Living Together Lounge  かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査  かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査  第40回MSM首都圏グループ全体ミーティング  第8回 TOKYO FM×Think About AIDS Think About AIDS公開収録</p>
1	<p>[できる!キャンペーン D. stopできる!]  D期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開</p>

(2) MSM 首都圏グループ制作物リスト

○2007 年度

分類		資材名
啓発	REAL雑誌広告	「REAL Living Together」G-men掲載広告・予告
		「REAL Living Together」G-men掲載広告
		「REAL Living Together」バディ掲載広告
		「REAL Living Together」サムソン掲載広告
	冊子REAL	「REAL Living Together」G-men版
		「REAL Living Together」バディ版
		「REAL Living Together」サムソン版
		「REAL Living Together」普及版
	第6回東京プライドパレード	配布バッグ
		REAL缶バッジ
		HIVマップカード(裏面LT・上半身裸の男性)
		うちわ(白地に緑字REAL)
		Tシャツ(白地に緑字REAL)
		Living Together フロート
	レインボー祭	(パレードと同じグッズを配布)
	新橋タウンミーティング	案内(Wordにて制作)
	「初戀」上映会シンポジウム	フライヤー?
	TFM×LT計画	A5折フライヤー(OUR DAYS DIARYと両面)
		Tree of LOVE コンドーム
	イベント	OUR DISHES ランチョンマット
REAL-LT展	「REAL Living Together展」フライヤー	
	「REAL Living Together展」パネル	
	ランチョンマット	
	コースター(緑地に白字REAL)	
調査	ベースライン調査	雑誌広告冊子に挟み込んだハガキ
	インタビュー調査	くまフライヤー



○2008 年度

分類		資材名
啓発	冊子REAL	「REAL Living Together」多言語版
	クラブキャンペーン系	キース・ヘリング袋
	クラブキャンペーン系	クラブキャンペーン説明
		キース・ヘリングコンドームセット
	冊子	「FACE TO REAL」キース・ヘリングデザイン
		「This is hope」「Ready Go!」「ボクライフ！」
		REAL A5折 冊子紹介リーフレット・青
		「OUR DAYS Episode 2 ポジティブな5人の“Living Together”日記」
	スポーツ大会	主催者のメッセージが入ったカード
		コンドーム
	Prelude	説明パネル
		プログラムA4折
	レインボー祭	Tシャツ(青地に白でREAL LT)
		うちわ(青地に白REAL LT)
	伝えるキャンペーン	チラシ
	TOKYO FM	A5折 6月ぐるりのこと。コラボ。 12月 A4ピラ
		ユウジさん手記パネル、写真パネル
	イベント	OUR DAYS ep2 ランチョンマット
パネル展のパネル		
検査	検査案内	西新宿検査案内(H.20 7月)
		横浜市臨時夜間検査(H20 1月)
		西新宿検査案内(H.20 7月)
		神奈川県臨時検査(H20 11月)
TOMARI-GI		TOMARI-GI 1号、2号
		TOMARI-GI CAFE EVENTチラシ(ときどき通信)
LT 計画	LT-Lounge	Living Together Loungeフライヤー 6月-3月
	Living Togetherのど自慢	2008年6月フライヤーvol.9-11
	横浜Cruiseネットワーク	LIVING TOGETHER KANAGAWA リーフレット改訂版

○2009年度

分類		資材名	
全体	REAL-LT	REAL-LT紹介ピンクリーフレット	
		エイズ学会用REAL-LT冊子DL紹介チラシ	
啓発	TOKYO Pride Festival	TOKYO Pride Festival 舞台イベント紹介フライヤー	
		カミングアウトフラッグ	
	プレリユード	パンフレット裏	
	できる!キャンペーン		できる!キャンペーンコンドーム4種
			できる!経験談募集フライヤー
			できる!キャンペーンうちわ、Tシャツ カリフォルニアオレンジ
			できる!キャンペーンTシャツ+うちわ
			できる!キャンペーン 前フリフライヤー 1、2
			できる!キャンペーン FACE TO REAL さわやか版 3トップ
			できる!キャンペーンセット用クリアバック
			できる!キャンペーン 本フライヤー
			できる!キャンペーン FACE TO REAL エロ版 3トップ
			できる!キャンペーン 卓上カレンダー 風景版、人物版
			できる!キャンペーンTシャツ クラブキャンペーン用
			できる!キャンペーン グッズ説明マンガ
		cocolo cafe 展示用パネル	
	キャンペーン用POP・大、小、大小利用図		
	TFM×LT計画	THINK ABOUT AIDS 6月イベントフライヤー	
	THINK ABOUT AIDS	THINK ABOUT AIDS webサイト紹介フライヤー	
		THINK ABOUT AIDS 12月イベントフライヤー	
		THINK ABOUT AIDS 12月放送フライヤー	
検査		港区AIチェックフライヤー	
		多摩地域検査・相談室フライヤー、ポスター	
		新宿区保健所検査フライヤー、ポスター	
		あんしんHIV検査サーチ紙版	
		12月検査イベントフライヤー	
web		HIVマップカード緑版・黄色版・ポスター	
		エイズ学会用HIVマップパネル、フライヤー	
TOMARI-GI		TOMARI-GI3号-5号	
		TOMARI-GI cafe EVENTフライヤー	
LT	Living Together Lounge	Living Together Loungeフライヤー 4月-3月	
計画	Living Together のど自慢	Living Togetherのど自慢フライヤー 6月、9月、12月	

○2010 年度

分類		資材名
できる!!	A期間・SEXできる!	キャンペーン説明折りチラシ
		SEXできる!ポスター A3、A4
		SEXできる!リーフレット
		コンドーム4種類
	B期間・すぐできる!	24会館スタッフ向けFAQ
		すぐできる!ポスター A3、A4
		すぐできる!リーフレット
	C期間・話ができる!	話ができる!ポスター A3、A4
		話ができる!リーフレット
	D期間・ストップできる!	ストップできる!ポスター A3、A4
		ストップできる!リーフレット
	啓発	冊子
データで見る、ゲイ・バイセクシュアルとHIV/エイズ情報ファイル2010		
スポーツ大会(テニス大会)		(新規制作物はなし)
Prelude		チラシ掲載広告、プログラム掲載広告
第7回東京プライドパレード・		パンフ:パンフレット掲載広告
		舞台:パネル1、2、3、4、5
		ブース:できる新聞、 できる! A期間バナー、できる! B期間バナー
		フロート:ターボリン幕・トラック横 メッシュ幕・トラック前、メッシュ幕・トラック後
レインボー祭		(新規制作物はなし)
Gaysian Games 2010		モノクロチラシ
TFM	Think about AIDS vol.6:曾我部恵一ver.、吉田秀彦ver.	
	Think about AIDS vol.7	
検査	検査案内	7月15日・西新宿保健センター ゲイのための～案内
		12月456 SHIP案内
Web		(新規制作物はなし)
TOMARI-GI		TOMARI-GI 6号 (2010 SPRING)、7号 (2010 SUMMER)
		TOMARI-GI 8号 (2010 AUTNUM)、9号 (2010 WINTER)
		TOMARI-GI 10号 (2011 SPRING)・最終号
LT 計画	LT-Lounge	Living Together Lounge フライヤー4月-3月
	Living Togetherのど自慢	2010年5月フライヤーvol.15、9月vol.16フライヤー

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業  
エイズ予防のための戦略研究 総合研究報告書

課題 1

首都圏および阪神圏の男性同性愛者を対象とした  
HIV 抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究  
阪神圏の男性同性愛者を対象とした  
HIV 抗体検査の普及強化プログラムの実施報告

研究リーダー：市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究協力者：鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部）、川畑拓也（大阪府立公衆衛生研究所）、岳中美江（NPO CHARM/POSP/流動研究員）、辻 宏幸（MASH 大阪/流動研究員）、後藤大輔（MASH 大阪/流動研究員）、町登志雄（MASH 大阪/POSP）、内田優（MASH 大阪）、山田創平（京都精華大学人文学部）

## 研究要旨

本研究では、男性同性間の性的接触による HIV 感染者およびエイズ患者報告数が著しく増加していることから、大阪府、兵庫県、京都府に居住する MSM（男性と性的接触を有する男性）を対象に、HIV 抗体検査促進のための啓発普及プログラムを実施し、HIV 抗体検査件数の増加、AIDS 発症者の抑制を図ることを目的としている。研究計画書に沿って平成 18（2006）年度から平成 22（2010）年度にかけて、啓発、検査、相談、評価調査の体制の構築を図りつつ、1) HIV 抗体検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発と普及、2) HIV 抗体検査体制の整備と拡大、3) 相談体制の整備 - HIV 検査で陽性が判明した患者への受診支援の整備等 - の実施をおこなった。

### A. 研究の目的

エイズ予防のための戦略研究（以下、エイズ予防戦略研究）は、HIV 検査を 2 倍に増加させ、エイズ発症患者を 25%減少させることを目標としている。この主目標を受けて、課題 1 研究では、首都圏および阪神圏に居住する MSM（男性と性的接触を有する男性）を対象に、HIV 検査促進のための啓発普及プログラムを実施し、HIV 検査件数の増加、AIDS 発症者の抑制を図ることを目的とする。

### B. 研究方法

#### 1. 対象地域・対象者

阪神圏では大阪府、兵庫県、京都府を対象地域とし、それらの地域に在住する MSM を対

象者とした。

#### 2. 介入方法

本研究では、MSM を対象に HIV 検査受検を促進し、早期発見、早期受診によるエイズ発症防止を図るために、アウトカム達成に向けた介入の仮説（図 1）に基づき、MSM への啓発体制、HIV 検査と相談体制、研究成果を把握する調査体制のそれぞれが連動する研究体制（図 2）を構築することとし、1) HIV 検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発と普及、2) HIV 検査体制の整備と拡大、3) 相談体制の整備-HIV 検査で陽性が判明した患者への受診支援の整備を以下のように行った。



性者プログラムの広報を実施した。

平成 19 年度から平成 22 年度に実施した内容を以下に示す。

\*平成 18 年度は、体制構築とプログラム準備の期間であったためプログラムは実施していない

#### 商業施設利用者に対する介入プログラム

##### 1)-① クラブ利用者に対する受検行動促進啓発プログラム【ナイトプロジェクト】

クラブパーティ会場において、クラブパーティ来場者（概ね 20 代から 30 代）を対象者として、受検意欲・受検行動の促進を目的として、映像によるメッセージ発信、ノベルティグッズの配布（Safer Sex について振り返るきっかけとなる資料の提供）、相談機関や検査機関の広報資料の配布などを実施した。

<平成 19 年度>

既存のクラブイベント（22 イベント）との連携により、16 会場で啓発映像資料の上映を行なったほか、映像資料と共通テーマのタオル 2050 本、キャンペーンロゴをデザインしたコンドームキット 2050 個、検査場案内フライヤーやシールなどのセット 4100 セットを配布し、エイズ予防戦略研究のロゴ等や既存の無料匿名の HIV 検査場の周知を図った。

<平成 20 年度>

前年度に引き続き、既存のクラブイベント（13 イベント）との連携により、7 会場で啓発映像資料の上映を行なったほか、映像資料と共通テーマのタオル 1480 本、キャンペーンロゴをデザインしたコンドームキット 5280 個、検査場案内フライヤー 950 枚、シールセット 1530 枚を配布し、エイズ予防戦略研究のロゴ等や既存の無料匿名の HIV 検査場の周知を図った。

<平成 21 年度>

クリニック検査キャンペーンが本格的に展開されるようになったため、その広報に重点を置いてプログラムを展開することとした。

既存のクラブイベント（15 イベント）との連携により、レッドアンクレットミサンガ 2950 個、クリニック検査フライヤーなどを入れたコンドームパック 4900 個を配布した（コンドームパックの中身は、クリニック検査フライヤーの他に、コンドーム、ローションパック、受検促進メッセージが記載したゲイ作家のイラストカード、受検促進メッセージおよび HIV 陽性とわかった人のための電話相談【サポートライン関西】の紹介を掲載した Safer SEX ガイド、PLuS+広報フライヤーなど）。

<平成 22 年度>

前年度に引き続き、クリニック検査キャンペーンの広報に重点を置いてプログラムを展開することとした。

2000 人以上の集客がある大型クラブイベント（1 イベント）との連携により、ジャケットにクリニック検査広報を記載した特製 CD を 1000 枚作成・配布した。

そのほか既存のクラブイベント（5 イベント）との連携により、クリニック検査フライヤーなどを入れたコンドームパック 350 個を配布した（パックの中身は、クリニック検査フライヤーの他に、コンドーム、ローションパック、受検促進メッセージが記載したゲイ作家のイラストカード、受検促進メッセージおよびサポートライン関西の紹介を掲載した Safer SEX ガイド、PLuS+広報フライヤーなど）。

##### 1)-② ハッテン場における受検行動促進啓発プログラム【HATTEN+】

ハッテン場利用者に対して、HIV 検査の受検の必要性を自分自身の問題として認識させること、また検査に対する（その前後も含めての）不安を軽減できるようにすることを目的として、パスターや広報資料を作成・配布した。

<平成 19 年度>

ハッテン場利用者参加による情報提供資材の開発チーム立ち上げた。

・ハッテン場（商業施設系）の状況把握を行なった。

<平成 20 年度>

施設内における効果的な掲示方法や配布方法について、各施設に対してヒアリングを実施した。

ハッテン場施設内掲示専用ポスター3種類を製作。大阪市内のハッテン場(24 施設)に、3種類各 56 枚(合計 168 枚)を配布した。

<平成 21 年度>

7~9 月の期間に、協力の得られた大阪市内のハッテン場(15 施設)へ、クリニック検査フライヤーなどを入れたコンドームパック 58800 個配布した。2~3 月の期間に、協力の得られた大阪市内のハッテン場(16 施設)へ、コンドームパック 60000 個を配布した。年度配布合計は 118800 個。パックの中身は、クリニック検査フライヤーの他に、コンドーム、ローションパック、受検促進メッセージを記載した表紙カード、受検促進メッセージおよびサポートライン関西の紹介を掲載した Safer SEX ガイドなど。

コンドームパック配布の前後には、各施設に対してヒアリングを実施した。

<平成 22 年度>

クリニック検査キャンペーンの広報資材の配布のみで、ハッテン場に特化したプログラムは実施していない。

#### 商業施設非利用者に対する介入プログラム

##### 1)-③ 一般街頭における受検行動促進啓発プログラム【スライドショープロジェクト】

ゲイ向け商業施設利用者のみならず、非利用者に対しても予防情報を提供することを目的としたプログラムで、ゲイ向け商業施設以外の場所において、エイズに関する啓発情報やメッセージを織り交ぜた映像作品を投影し、受検行動をとる「きっかけ」となる意識の変

化を促すことを目指した。

<平成 19 年度>

2 つの映像資材を作成・上映した。

・「POSITIVE FRIENDS ~HIV+の友だちがいるあなたへ~」カラー/18 分、3 会場で 16 回上映、観客数合計 2103 人

・「SCENE H」カラー/28 分、1 会場で 5 回上映、観客数合計 4090 人

<平成 20 年度>

1 つの映像資材を作成・上映した。

・「+-=O (ぶらす まいなす いこーる まる)」カラー/20 分、3 会場で 3 回上映、観客数合計約 2600~3000 人

<平成 21 年度>

1 つの映像資材を作成・上映した。

・「FIVE ANDRONE」カラー/17 分、1 会場で 1 回上映、観客数合計約 200 人

<平成 22 年度>

なし

##### 1)-④ 大型イベントによる受検行動促進啓発プログラム【PLuS+】

ゲイ向け商業施設利用者のみならず、非利用者に対しても予防情報を提供することを目的としたプログラム。公園という公共のスペースにおいてコミュニティフェスティバルの形式をとった大型啓発イベントを開催することにより、普段はゲイ向け商業施設などを利用しない層に対しても、地域のお祭りとして参加来場を促し、情報伝達・受信を可能にした。このプログラムにより、

・エイズの予防と共生について、コミュニティレベルでの共通の課題として取り組む意識を醸成する。

・大阪地域でエイズ対策に取り組む諸団体およびそれらを取りまくネットワークを可視化させ、MSM がそれらに接触する機会を創出する。

・“ゲイコミュニティ”を顕在化させ、個々人のセルフエスティームの向上に寄与する。

ことを目指した。

ステージ、展覧会、ブース展示、シンポジウム、ワークショップなど総合的なプログラムを企画し、ステージプログラムの中では検査場の情報や予防啓発情報の広報を行なった。<平成 19 年度>

10 月 27 日に扇町公園をメイン会場に開催した。イベント広報パンフレットを 9 月～10 月中旬に約 20000 部した。推計来場者数は約 5000 人であった。このうち約 7 割(推計約 3300 人)がゲイ・バイセクシュアル男性であった。<平成 20 年度>

10 月 12 日に扇町公園をメイン会場に開催した。クリニック検査の広告などを掲載したイベント広報パンフレットを約 20000 部配布した。推計来場者数は約 6000 人であった。来場者の約 6 割(推計約 3600 人)がゲイ・バイセクシュアル男性であった。

<平成 21 年度>

10 月 12 日に扇町公園をメイン会場に開催した。クリニック検査や陽性者サポートライン関西の広告などを掲載したイベント広報パンフレットを 9 月～10 月上旬に約 17000 部配布した。推計来場者数は約 5500 人であった。来場者の約 6 割(推計約 3500 人)がゲイ・バイセクシュアル男性であった。

<平成 22 年度>

10 月 10 日に扇町公園をメイン会場に開催した。クリニック検査や陽性者サポートライン関西の広告などを掲載したイベント広報パンフレットを 9 月～10 月上旬に約 20000 部配布した。推計来場者数約 6300 人であった。来場者の約 6 割(推計約 4000 人)がゲイ・バイセクシュアル男性であった。

また、HIV 検査会場になかなか足が向かない MSM に対して受検機会を設ける目的で、PLuS+の会場内において HIV 即日検査会「MaQ」を、大阪市保健所を初め、様々な組織との協働で実施した。受検者数は 169 人で、受検者全員が結果を受取った。HIV 陽性は 6 人であ

った。

#### インターネット利用者に対する介入プログラム 1)-⑤ インターネットを利用した受検行動促進啓発プログラム【WEB プロジェクト】

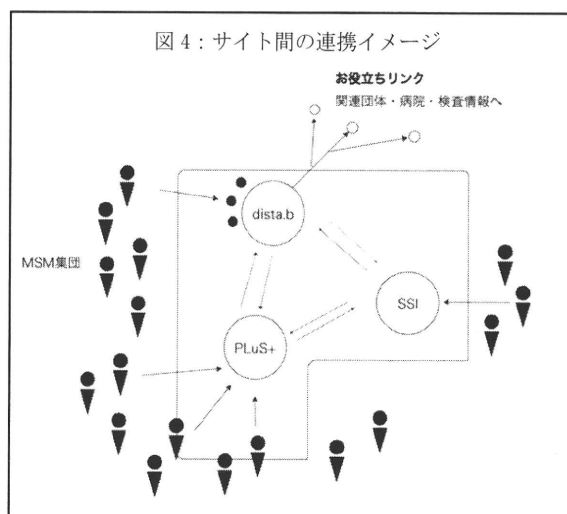
インターネット利用者に対する介入プログラムとして、PC および携帯電話からのアクセスに対応した複数のホームページを運営した。

それぞれのサイトは、クライアントのニーズに合わせてテーマが異なり、これによりファーストコンタクトの窓口を多様化させ、様々なニーズのクライアントを引きつけることを目指した。それぞれのサイトが互いに連動・補完することで、HIV/STI についての意識・知識の向上および行動変容や、受検意欲と受検行動の促進を行なった。

「dista.b」 「SSI (SAFER SEX info)」

「PLuS+FINAL」 「MASH web 大阪」 の 4 つのサイトを運営しコンテンツの継続的な整備、広報を行った。

- ・「dista.b」：コミュニティポータルサイト。
- ・「SSI (SAFER SEX info)」：STI について病名や症状や行為などから検索可能。
- ・「PLuS+」：大型イベントのホームページ。
- ・「MASHWEB」：MASH 大阪公式ホームページ。



これらのうち「dista.b」は、中核となるサイトで、検査場情報や、関西の HIV/AIDS の予防・支援団体情報などが中心のお役立ちリン

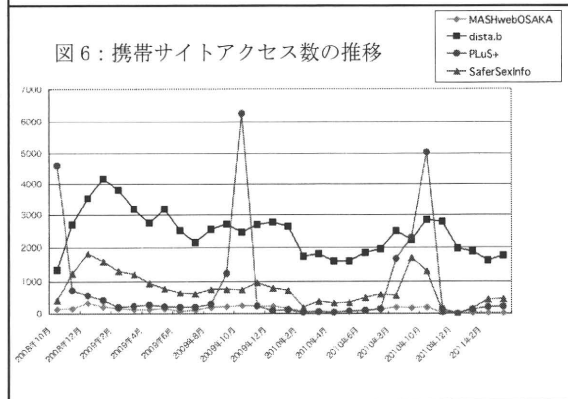
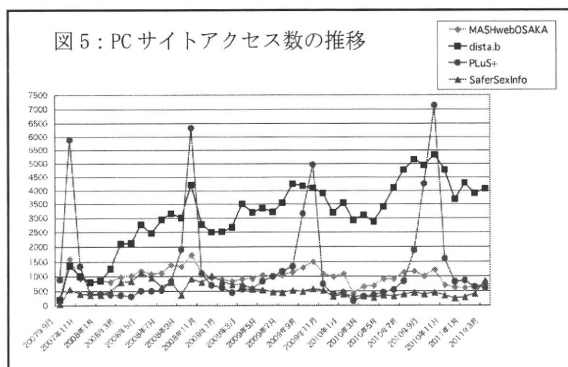


ク集を整備したほか、無関心層を引きつける為のコンテンツも多数展開した。各年度の月平均のアクセス数は、

- ・平成 19 年度が (PC) 約 1200/ (携帯) なし
- ・平成 20 年度が (PC) 約 2900/ (携帯) 約 3000
- ・平成 21 年度が (PC) 約 3600/ (携帯) 約 2500
- ・平成 22 年度が (PC) 約 4300/ (携帯) 約 2100 であった。

そしてこの「dista.b」から戦略研究で実施されている検査促進に関するキャンペーンへのアクセスや「Safer Sex Info.」などの情報資源のページへのアクセスが得られていた。

また、「PLuS+」は開催前月からセッション数が急増し、これに牽引される形で他のサイトへのアクセス数も増加した。



#### <平成 19 年度>

9 月に 4 つのサイトを開設した。次年度からの商業施設利用層、インターネット利用層に向けた受検行動促進啓発の基盤が構築された。「dista.b」においては、無関心層を引き付けるためのコラム記事の充実を図った。年間合計セッション数は PC からのアクセスが 7547 であった (9 月より集計開始)。

#### <平成 20 年度>

「dista.b」においては、関西の HIV/AIDS の予防・支援団体情報などを中心としたお役立ちリンク集を整備したほか、無関心層を引き付けるためのコラム記事の充実を図った。またクリニック検査キャンペーンの試行に合わせ専用ページを作成した。年間セッション数は、(PC) 34657/ (携帯) 18704 (10 月より集計開始) であった。

「PLuS+」は、開催前月からセッション数が急増し、開催月である 10 月は PC と携帯からのアクセス数合計が 10911 であった。

#### <平成 21 年度>

「dista.b」においては、関西の無料匿名検査場の検索システムとして関西 HIV 無料・匿名検査場ナビを整備したほか、引き続き無関心層を引き付けるためのコラム記事の充実を図った。またクリニック検査キャンペーンの本格的な展開に合わせ専用ページを作成した。年間セッション数は、(PC) 42486/ (携帯) 29999 であった。

「PLuS+」は、開催前月からセッション数が急増し、開催月である 10 月は PC と携帯からのアクセス数合計が 11208 であった。

#### <平成 22 年度>

「dista.b」においては、引き続き無関心層を引き付けるためのコラム記事の充実を図った。またクリニック検査キャンペーンの専用ページを作成した。

年間セッション数は、(PC) 39025/ (携帯) 19303 であった。(※いずれも 12 月末まで)

「PLuS+」は、開催前月からセッション数が急増し、開催月である 10 月は PC と携帯からのアクセス数合計が 12163 であった。

#### 中高年 MSM に対する介入プログラム

##### 1)-⑥ 中高年 MSM を対象とした受検行動促進啓発プログラム【ミドルエイジプロジェクト】

エイズ発症での報告割合の高い中高年 MSM (21 年度より、45 歳以上をメインターゲット

と設定) に対して、HIV/STI についての意識・知識の向上・行動変容、受検意欲と受検行動の促進 (HIV 検査受検の必要性の認識強化、受検への不安を軽減) を目的としたプログラム。ニーズアセスメント調査(質的調査実施、量的調査データの再分析) により、対象層における HIV/STI 予防および受検行動の促進要因や有効な啓発手法 (情報伝達媒体など) に関わるニーズを把握したうえで、得られたニーズにそってプログラムを立案・執行した。  
<平成 19 年度>

質的調査チームを立ち上げてインタビューガイドを作成し、これに基づいて半構造化面接によるインタビュー調査を実施した。

<平成 20 年度>

前年度実施したインタビュー調査について分析を行なった。その結果、特徴的な概念として中高年 MSM には若者との対等で社会的な関係の構築欲求があり、MSM ネットワークにおける世代・年齢による断絶があることが明らかとなった。このことから中高年に対する予防啓発プログラムは、若年層とは別に、極めてオリジナルな形で展開する必要性が強く示唆された。

<平成 21 年度>

これまで大阪で行われてきた MSM に対する量的調査データの再分析を実施した。その結果、45 歳以上の年齢層において、予防知識・行動、受検経験などが低いことが改めて明らかとなり、メインターゲットを 45 歳以上に設定することとした。

<平成 22 年度>

前年度までの調査結果をふまえ、商業施設オーナー・従業員を読者に想定した「ミドルエイジ向けセクシュアルヘルス・ガイドブック」を作成し、190 軒のゲイ向け商業施設に 500 冊配布した。目的はコミュニティのキーパーソンである商業施設オーナー・従業員への情報提供であり、商業施設の顧客への配布は想定していない。配布の際、顧客年齢層の

高い新世界エリアにおいて、新たに 14 店舗と連携を進めることができ、中高年に特化した資材であれば受け取ってもらうことができることがわかった。

#### STD クリニックでの受検を促進するプログラム 1)-⑦ STD クリニックでの受検を促進するプログラム【クリニック検査キャンペーン広報】

利用施設や利用ツール、年齢によってターゲットグループ別設定したプログラムに取り入れる形で、さらには別の手法を用いて、クリニック検査キャンペーンの広報を、MSM 向け商業施設を中心として実施した。それらをまとめると以下のようなになる。

<平成 19 年度>

3 月からのクリニック検査キャンペーンの試行に伴い、キャンペーン冊子を 197 軒に 8910 部と、ポスターを 194 軒に 194 部配布した。さらにコミュニティペーパー「SaL+」に紹介記事を掲載した。

<平成 20 年度>

9 月からのクリニック検査キャンペーンの試行に伴いキャンペーン冊子を 318 軒に 6800 部配布した。また PLuS+2008 パンフレットに広告を掲載して約 20000 部配布した。さらにコミュニティペーパー「SaL+」に紹介記事を掲載した。

<平成 21 年度>

クリニック検査キャンペーンの本格的な展開を受けて大規模な広報展開を行なった。

5 月に 185 軒の MSM 向け商業施設にキャンペーン冊子を 5445 部配布した。

クラブ用コンドームキットに広報フライヤーを封入し 4900 個、ハッテン場用コンドームキットに広報フライヤーを封入 58800 個配布した。

また PLuS+2009 パンフレットに広告を掲載して約 17000 部配布した。

さらにコミュニティペーパー「SaL+」に紹介記事を掲載した。

実施期間中のクリニック検査キャンペーンのホームページアクセス数は、(PC)3530/(携帯)5,793であった。

<平成22年度>

前年度に引き続き、クリニック検査キャンペーンの本格的な展開を受けて大規模な広報展開を行なった。

5月に225軒のMSM向け商業施設にキャンペーン冊子を6,500部とポスターを195枚、11月に193軒のMSM向け商業施設にキャンペーン冊子を5,850部配布した。

クラブ用コンドームキットに広報フライヤーを封入し350個、バー場用コンドームキットに広報フライヤーを封入し15,330個配布した。

またPLuS+ FINALパンフレットに広告を掲載して約20,000部配布した。

さらにコミュニティペーパー「SaL+」に紹介記事を掲載した。

実施期間中のクリニック検査キャンペーンのホームページアクセス数は、(PC)4031/(携帯)7230であった。

## 2) HIV抗体検査体制の整備と拡大

阪神圏地域においてHIV抗体検査体制の整備と拡大を進めるにあたり、①MSMが心理的に安心していける検査場かどうか、②MSMが物理的にアクセスしやすい検査場かどうか、という2つの要素に留意する必要がある。これら①と②を同時に満足させる検査事業のモデルは、かつてNPO CHARMが大阪府・大阪市の委託事業として北区堂山町で行っていたHIV抗体検査に求められる。

したがって本研究では、上記モデルにならない、当該地域のMSMが心理的・物理的にアクセスしやすい検査場を創造し検査の機会を大幅に拡充することを目指した。

### 2)-① クリニック検査キャンペーン

性感染症の既往がある受診者にHIV検査を

勧めるSTDクリニックにおいて、HIV陽性者が比較的高率に見つかる事が報告されている。そこで、MSMが受診しやすいSTDクリニックを開拓し、そのクリニックを受診するMSMにHIV検査を勧奨してもらえれば、自発的に保健所へHIV検査に行かないがリスクは高いMSMのHIV検査受検率が上昇するのではと考えた。そういう状況を構築する事を目的に、STDクリニックにMSMの積極的な受け入れの協力を仰ぎ、協力の得られたクリニックを定点としたHIV検査キャンペーンを実施し、クリニック側にはMSMとの対応に慣れてもらい、MSMには積極的な診療所の存在を知ってもらう機会を作った。

<平成19年度>

平成19年度は3クリニックと連携し、キャンペーンの広報、臨床検査会社へ委託したスクリーニング検査における検体と結果(情報)の流れの確認等のため、先行調査として約2ヶ月間、検査キャンペーンを行った。スタイルとしては、MASH大阪がゲイコミュニティ向けに検査キャンペーンの広報を行い、それに暴露されたクライアント(MSM)が協力クリニックを訪れ、1000円を支払ってHIV検査を含む性感染症の検査を受検するというものであった。協力クリニックは、大阪STI研究会の協力を得て探し、大里クリニック、大国診療所(現そねざき古林診療所)、岩佐クリニックの協力を得た。検査項目はHIVの抗原・抗体、HBVのHBs抗原、梅毒の抗体(STS, TP)であった。

先行研究の結果、受検者数は28名(14名/月)とそれ程多くは無かったが、HIV陽性者数は4名(陽性率14.3%)と比較的多かった。

<平成20年度>

平成20年度はさらに4クリニックの協力が得られ、合計7クリニックで検査キャンペーンを行った。新たな協力クリニックは、亀岡クリニック、菅野クリニック、田端医院、高田泌尿器科であった。検査期間は約1ヶ月

半しかとれず、検査項目に関しては前年度と同じで行った。

結果、受検者数は17名(11名/月)と伸び悩み、HIV陽性者数は1名(5.9%)であった。また、大阪府内には一般医療機関のHIV暴露事故対策が行政として行われていなかったことから、研究班と大阪STI研究会の双方から大阪府・大阪市に改善を申し入れた。その結果、一般医療機関のHIV暴露事故時にも拠点病院において抗HIV薬を緊急処方してもらえる制度が整備された。

<平成21年度>

平成21年度、クリニックの協力で検査期間を8ヶ月間(5月から12月)と大幅に延長し、また検査項目もHCVの抗体、クラミジアの遺伝子、淋菌の遺伝子の計6疾患7項目と増やした。

その結果、受検者数は272名(34名/月)と増加した。またHIV陽性者数も12人と増加し、陽性率は、20歳代5.0%、30歳代4.5%、40歳代5.8%、全体では4.4%であった。陽性者の11名が、全受検者の半数以上を占めるそねざき古林診療所で受検するなど、診療所ごとの受検者に偏りが見られた。

この年、保健所のHIV検査数が新型インフルエンザの影響と見られる減少傾向を全国的に示したのに対し、本検査キャンペーンにおいてはキャンペーン開始当初より終了に向けて増加傾向を示した。

<平成22年度>

平成22年度は、淋菌の検査を取りやめた事以外、前の年とほぼ同様のキャンペーン内容で行った。

その結果、受検者数は前年とほぼ同様の263名(33名/月)であり、陽性者数は最多の15名であった。陽性率は、20歳代4.5%、30歳代7.2%、40歳代5.9%、50歳代7.7%、全体では5.7%であった。平成21年度はほとんどの陽性者がそねざき古林診療所に集中していたが、本年度はそねざき古林診療所が多

かったものの(8名)、他のクリニックにも分散してみとめられた(岩佐クリニック4名、高田泌尿器科2名、亀岡クリニック1名)。

受検者数の推移は、前年度と同様に時間の経過と共に増加した。

## 2)-② HIV迅速検査会【MaQ】

HIV感染の可能性の高い状況にありながら、わざわざHIV検査には行かない(または行けない)人たちへ、「来るのを待っている」のではなく「いる場所に出向く」スタイルでのHIV検査相談を提供することにより、潜在的HIV陽性者の早期受検・早期受診を促進し、発症してからHIV感染に気付く人を減らすことを目的として、平成22年10月にPLuS+会場において、HIV迅速検査会【MaQ】を実施した。

近隣自治体の保健師など87名のスタッフの参加を得て、PLuS+ FINALの開催時間中に、メイン会場の扇町公園特設検査場で採血を行ない、約1時間後に、検査結果通知会場とした大阪市北区保健福祉センターで結果の通知をする(ただし、確認検査が必要となった方には、翌日に確認検査結果を受け取りに、再度お越しいただく)というデザインで設定した。

イベント開催時間内に当日の結果通知を終了できるよう、受け入れ可能な受検者数の限界を200人と設定した。その限られた枠内で、受検する必要性の高い人たちがより多く受検できるよう、事前に大規模な広報は行わず、会場内にて案内する方法をとった。さらに受検希望者に対し確認用紙を用いて個別にリスクスクリーニングを行ない、HIVに感染する機会がほとんどなかったと判断される方や、定期的に検査を受けている方などには受検をご遠慮いただくという形式で行なった。

受検者の多くは検査を目的にイベント会場に来る人ではないため、検査を受けることや結果を受け取ることへの準備性は低いと予想された。また、イベントとしての高揚感と検